

掲示板のことば

ことばは

沈黙に

光は闇に

生は

死の中にこそ

あるものなれ

ルークウイン 『ゲド戦記』

2025. 04

『ゲド戦記』シリーズの1作目、「影との戦い」にある言葉です。

僕はこの物語から、子どもから大人になってゆくなかで、本当の自分というものと対峙していく、向き合っていくことの難しさを感じます。

「影」とは、多くの物語では暗喩（メタファー）として、もう一人の自分、本当の自分、というような存在として現れることが多いようです。

その「影」を受け入れることはとても難しいことですが、まさに冒険です。

「影」というと、一見マイナスなことを感じてしまいますね。暗い感じや、悪い感じや、恐ろしい感じがします。自分には、そういう部分は無いと思いたいですし、あるということを認めたくないような気もします。

でも、そこに、本当の自分がいるのかもしれませんが・・・。

沈黙、ということ、黙っていて、静かで、声が聞こえず、言葉のないように思いますが、実は沈黙の中にこそ、聞かなければならない言葉があります。

真っ暗で、何も見えない闇の中にこそ、光を感じるすることができます。明るいところでは、何が光やらわからないものです。私を照らす希望や、尊さは、暗闇の自覚の中にこそ、はっきりとその存在を感じるができるのでしょうか。

そして、最も恐るべき「死」が私たちに平等に訪れるからこそ、生が輝くのではないかと思います。

死は私たちにとっては、沈黙であり、闇であるかもしれませんが、でもその中に聞くべきことばがあり、希望の光を見出し、生きて行くのでしょうか。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹